

地元の中学生や地元の方々と協働で、外来植物の駆除を実施

平成29年7月27日（木）、希少植物を移植した上尾道路の「湿地保全エリア」において、上尾市立大石南中学校の先生と生徒（13名）や地元の方々等と一緒に、毎年恒例となった「外来植物の駆除イベント」を実施しました。

夏を迎えた湿地保全エリアでは、外来植物の「セイタカアワダチソウ」や「オオブタクサ」が成長しており、専門家より誤って外来植物以外を抜かないよう説明を受けたあと、2種類の外来植物の抜き取り作業を行いました。

当日は、曇り空でしたが、風が無く気温が高めであったため、皆で大量の汗をかきながら、大人の背丈以上もある外来植物を1本ずつ慎重に根から抜き取り、大量の外来植物を駆除することができました。

今後も、地元の中学生や地元の方々と一緒に、希少植物等の保全に取り組んでいきます。



専門家による外来植物等の説明



背丈を超える外来植物を抜き取り



1本ずつ慎重に選んで抜き取りました



駆除した大量の外来植物を囲んで撮影